

令和4年度 小施策評価シート

作成日	令和4年4月28日				作成課	プロモーション推進課	作成者	岩本 裕介
小施策	01	—	03	—	01	地域資源の活用によるまちの魅力向上		

1. 小施策の位置づけ<Plan>

都市将来像	未来をひらく にぎわいとやすらぎのコミュニティ都市							
政策	01	地域と行政の共働による魅力輝くまちづくり						
大施策	03	地域資源の活用					重点施策	
めざそう値	市内の自然・歴史・産業・イベント・施設・人などの地域資源の魅力が活かされ、多くの人でにぎわっている。							
	設定時	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	2.84	3.18	2.97	2.97	3.03			
現状と課題	近年、個人が各々の興味に応じて目的地を選び、地域特有の食文化や体験、地元の人々との交流を楽しむという着地型観光が注目されており、本市でも地域資源の活用に向けたさまざまな取り組みが進められています。 交流人口が増加する中、市内の外国人も年々増加傾向にあり、地域の中で安全・安心に生活できる環境づくりや、国際感覚豊かな人づくりの重要性が増してきています。							
大施策の基本目標	歴史、文化、産業、施設などの地域資源を掘り起こし、その魅力をつないでいくことで、まちの活力を創出し、交流人口や定住人口の増加を図ります。 また、外国人も含めた全ての人が地域の中で活躍し、その魅力を発揮することができる環境づくりを進めます。							
小施策	01	地域資源の活用によるまちの魅力向上						
小施策の基本目標	市民だけでなく、来訪者にとっても魅力的な地域資源の発信と活用を図り、まちのにぎわいづくりを推進します。							

2-1. 小施策を構成する事務事業<Do>（詳細は別紙3参照）

事業1	大野城市PRキャラクター「大野ジョー」運用事業	事業13	
事業2	市イメージキャラクター「まどかちゃん」PR事業	事業14	
事業3	「にぎわいづくり協議会」運営支援事業	事業15	
事業4	地域情報発信アプリ「ジョークエスト」運用事業	事業16	
事業5	おおの山城大文字まつり支援事業	事業17	
事業6	ふるさと納税推進事業	事業18	
事業7	シティプロモーション推進事業	事業19	
事業8	シェアサイクル実証実験事業	事業20	
事業9	観光対策事業	事業21	
事業10	その他庶務	事業22	
事業11		事業23	
事業12		事業24	

2-2. 小施策に投入する業務量と事業費<Do>

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		8,024時間	6,789時間
	業務量(会計)		3,183時間	5,405時間
	業務量合計		11,207時間	12,193時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	345,079千円	816,064千円	1,141,875千円

一般財源	339,240千円	809,417千円	1,130,041千円
特定財源	5,839千円	6,647千円	11,834千円

3. 小施策における客観的成果(主な指標)<Check>

指標名		単位	目標値	上段:目標値 下段:達成値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市や支援団体などが実施するにぎわいづくり事業の年間参加者数		人	87,000	81,000	82,500	84,000	85,500	87,000
				29,604	1,261	9,031		
—		—	—					
成果の達成原因・未達成の原因と達成に向けた改善点等	令和元年～3年度の実績値が目標値と大きく乖離しているのは、「おおの山城大文字まつり」や「わくわくパピリオン」が台風やコロナの影響により開催中止・延期となったことによるもの。市内外問わず多くの人々に大野城市に興味を持ってもらうために、マンネリ化の防止や更なる成果の拡大を目指し、新たな試みや更なるPRを行っていく。							
主な関連事務事業	おおの山城大文字まつり支援事業							

4. 小施策の展開<Action>

過去の施策マネジメント 診断結果 (小施策への診断)	診断実施年度: 2019(R1)
	地域資源の活用によるまちの魅力の向上及び発信という目標に対し、市及び関係団体が連携して取り組まれている。今後は、いかに市民や市外の住民を巻き込んで、まちの魅力を発信してもらうかという視点も必要である。 また、次期総合計画の策定に向け、この小施策の目標に対し、設定している指標が適切かについても併せて検討する必要がある。
小施策の目標達成に向けた課題(達成に向けて必要なこと)	情報発信の機会やツールを最大限活用しきれておらず、地域資源などのまちの魅力の発信が足りていない。
小施策の目標達成に向けた取組の方向性(上記課題を解決するために実施すること)	「(一社)にぎわいづくり協議会」や「おおの山城大文字まつり」の支援、「大野ジョー＆まどかちゃん」を活用した対外的なPRを促進するとともに、ふるさと納税を推進していくにあたり、市外住民へも本市の地域資源のPRを実施していく。また、他の事業などと絡めながら「ジョークエスト」などの情報発信ツールを有効活用することで、各事業単体でなく、複合的にまちの魅力を発信していく。

(空白)

別紙1 小施策構成事務事業一覧表(事業費、業務量)

別紙1 小施策構成事務事業一覧表(事業費、業務量)		小施策			地域資源の活用によるまちの魅力向上					作成課	プロモーション推進課			計	6名
		職員構成			係長	1名	担当	2名	再任用 PM		再任用		会計年度 任用職員	3名	
事業 番号	事務事業名	上段:総事業費(単位:千円) 下段:特定財源(単位:千円)			事業費、特定財源に関するコメント (主な増減理由等)	業務量(単位:時間)					業務量に関するコメント (主な作業、増減理由等)	備考			
		R2年度決算	R3年度見込	R4年度予算		R2年度実績	R3年度実績	R4年度計画							
計		345,079千円	816,064千円	1,141,875千円			11,207時間	12,193時間							
		5,839千円	6,647千円	11,834千円											
1	大野城市PRキャラクター「大野ジョー」運用事業	5,215千円	6,587千円	9,085千円	R2～3は、コロナ禍による派遣数の減少によるもの		1,810時間	1,769時間			R4から「大野ジョー」と「まどpちゃん」を同一課で一体運用。業務量は双方の合算分				
		5,214千円	6,586千円	9,085千円											
2	市イメージキャラクター「まどかちゃん」PR事業	1,631千円	2,541千円	4,561千円	R2～3は、コロナ禍による派遣数の減少によるもの		228時間	1,769時間			R4から「大野ジョー」と「まどpちゃん」を同一課で一体運用。業務量は双方の合算分				
		625千円	61千円	245千円											
3	「にぎわいづくり協議会」運営支援事業	25,630千円	25,747千円	26,020千円			597時間	620時間							
		0千円	0千円	0千円											
4	地域情報発信アプリ「ジョークエスト」運用事業	867千円	867千円	4,176千円	R4は、アプリ版からWeb版への改修による事業費増		390時間	268時間							
		0千円	0千円	2,504千円											
5	おおの山城大文字まつり支援事業	8,249千円	5,695千円	12,308千円	R2～3は、コロナ禍による代替事業実施による事業費減		2,179時間	1,892時間							
		0千円	0千円	0千円											
6	ふるさと納税推進事業	300,508千円	763,717千円	1,071,321千円	年々の伸びは、寄附額の増額によるもの		3,008時間	3,850時間			寄附額の増額を見込むことによる業務量の増				
		0千円	0千円	0千円											
7	シティプロモーション推進事業	0千円	7,502千円	10,850千円	事業はR3年度から実施		126時間	574時間			R4にアクションプランを策定することによる業務量の増				
		0千円	0千円	0千円											
8	シェアサイクル実証実験事業	0千円	0千円	0千円			55時間	164時間							
		0千円	0千円	0千円											
9	観光対策事業	2,979千円	3,408千円	3,554千円			221時間	113時間							
		0千円	0千円	0千円											
10	その他庶務	0千円	0千円	0千円			2,594時間	1,174時間							
		0千円	0千円	0千円											
11		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間							
		0千円	0千円	0千円											
12		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間							
		0千円	0千円	0千円											
13		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間							
		0千円	0千円	0千円											
14		0千円	0千円	0千円			0時間	0時間							
		0千円	0千円	0千円											

(空白)

別紙2__小施策構成事務事業各概要				小施策名		地域資源の活用によるまちの魅力向上										
事業番号	事務事業名	事業概要(目標は総合計画の目標年度)														
		事業区分	根拠法令・要綱等	事業の性質	市の実施義務	目的【何のためにこの事務事業を実施するのか】	直接対象【誰(何)を対象にこの事務事業を実施するのか】	対象規模(人数等)	手段【どのような手段でこの事務事業を実施するのか】	期待される成果【左記の手段をとること、誰にどのような成果がもたらされることを期待するのか】	実施形態【外部委託の状況、補助・助成の状況】		筑紫地区等近隣自治体との比較	本市の水準、順位等	小施策への貢献度【左の成果をあげることにより、小施策の目標達成にどのような影響を与える(ことが期待できる)か】	貢献度
1	大野城市PRキャラクター「大野ジョー」運用事業	実施計画事業	なし	自治事務	その他	「大野ジョー」の知名度を活かし、キャラクターという特性を活かした本市PRを行うもの。	市民及び市外住民	100,000人	市内イベント（おおの山城大文字まつり、まどかフェスティバルほか）また市外開催イベントへの参加、大野ジョーグッズによる普及啓発等	ゆるキャラ®グランプリ2018でご当地部門全国7位（県内2位）となり、市内外問わずPRキャラクターとしての地位を確立した「大野ジョー」を活用することで、キャラクターを通じた市内外への本市のPRが期待できる。	一部委託	派遣業務を委託		同程度	マスコットキャラクターという子どもから大人まで親しみやすいツールを通じた郷土愛の醸成、特別史跡大野城跡の歴史的価値の周知、ならびに広域への本市のPRが期待できる。	高（3点）
2	市イメージキャラクター「まどかちゃん」PR事業	実施計画事業	なし	自治事務	任意規定	リニューアルした「まどかちゃん」について「大野ジョー」と併せたシティプロモーションを展開することを目的とするもの。	市民	100,000人	令和元年にリニューアルした「まどかちゃん」について、市内イベント（まどかフェスティバルなど）への参加やグッズの普及啓発等を行う。	市民に親しまれるキャラクターにするとともに、大野ジョーと一体的に企業等の使用を促すことで、キャラクターを通じた本市のPRが期待できる。	一部委託	派遣業務を委託		同程度	マスコットキャラクターという子どもから大人まで親しみやすいツールを通じた郷土愛の醸成、特別史跡大野城跡の歴史的価値の周知、ならびに広域への本市のPRが期待できる。	高（3点）
3	「にぎわいづくり協議会」運営支援事業	実施計画事業	なし	自治事務	その他	市内に点在する地域資源を集約し、効果的な発信と活用を行うことで市内のにぎわいづくりに資することを目的とするもの。	市民及び市外住民	100,000人	「（一社）にぎわいづくり協議会」の運営支援	ふるさと大野城の「宝」である「人」「歴史」「自然」「文化」「産業」「施設」などの地域資源に関わる市民・事業所・団体等を互いに交流・連携させ、市全体のにぎわいの創出が期待できる。	補助・助成	事業補助金を交付		同程度	「にぎわいづくり」につながる事業を展開することで、活力あるまち大野城市のPR、事業を通じた地域商工業の活性化が期待できる。	高（3点）
4	地域情報発信アプリ「ジョークエスト」運用事業	実施計画事業	なし	自治事務	任意規定	歴史、自然、店など、大野城市の魅力遊びながらゲーム感覚で体感してもらい、市の魅力の再発見、また市外からの来訪者増につなげるもの。	市民及び市外住民	100,000人	回遊地点や店舗の拡大及びイベントと連動したミッションの構築、転入者へのチラシ配布やHP・広報紙等での周知活動。	市外からの来訪者の増加と市民が大野城市の魅力を再発見するためのきっかけとなることが期待できる。	一部委託	システム運用保守を委託		同程度	大野ジョーをモチーフに地域資源回遊を目的としたアプリ「ジョークエスト」を発信することで、利用者に楽しんで本市の魅力を体感してもらい、市のPR、にぎわい形成が図られる。	中（2点）
5	おおの山城大文字まつり支援事業	実施計画事業	なし	自治事務	任意規定	国指定特別史跡「大野城跡」を活かし、新たな文化と伝統を創造する大野城市の市民総ぐるみの文化イベントとしての「おおの山城大文字まつり」を通じて、「ふるさと大野城」への郷土愛の醸成とコミュニティの振興を図るもの。	市民及び市外住民	100,000人	「おおの山城大文字まつり委員会」の支援	市外住民に大野城市の伝統をPRするとともに、市民の「ふるさと大野城」への郷土愛の醸成とコミュニティの振興が期待できる。	補助・助成	事業補助金を交付		高い	国指定特別史跡「大野城跡」をはじめ、大野城市の歴史への関心が高まり、コミュニティを単位とした参加取組により地域振興・活性化への効果が期待できる。	高（3点）
6	ふるさと納税推進事業	実施計画事業	大野城市寄附金実施要綱	自治事務	任意規定	市民が他市にふるさと納税を行うことによる市民税流出額を確実に補填することを目的とする。また、併せて寄附を通じて本市の魅力や市内事業者・商品を広くPRし、地域イメージの向上や市内産業の振興に繋げるもの。	大野城市へ寄附を希望する人	寄附希望者	インターネットによる寄附受付、返礼品配送及び寄附の決済を行う。また、パンフレットや広告等によるPRを行う。	本市への寄附の増額	一部委託	寄附受付・返礼品配送手配など		同程度	市に対する寄附金の収納事務及び返礼品を通じた市のPR業務であり、本市の魅力や市内事業者・商品を広くPRし、地域イメージの向上や市内産業の振興に繋げることが期待できる。	高（3点）

別紙2__小施策構成事務事業各概要							小施策名		地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事業番号	事務事業名	小施策の目標を踏まえた現状と課題					小施策の目標達成に向けた今年度以降の事務事業の方向性			優先順位		備考		
		現時点の成果達成状況		診断実施年度：2019（R1）		現時点の課題		今後の方向性	事業費の方向性	業務量の方向性	事務事業の今後の取組の方向性(コメント)		貢献度+進捗度+方向性	優先順位
		達成度	【現時点ではどのような成果がでているか（左記の当初期待される効果及び当初は期待していなかった効果の発現状況）】	過去の施策マネジメント診断結果（各構成事務事業への診断）		【期待される成果をあげるため（小施策の目標達成に貢献するため）に必要なことは何か】								
1	大野城市PRキャラクター「大野ジョー」運用事業	未達成（3点）	大野ジョー派遣回数 ⇒101回（H29） ⇒128回（H30） ⇒163回（R1） ⇒46回（R2） ⇒58回（R3）			市PRキャラクターとして地位を確立しているが、「まどかちゃん」との兼ね合いを考慮しつつ、新たな試みや更なるPRが必要である。	現状のまま継続（3点）	維持	維持	令和3年度より新たに2年間の業務委託を行った。コロナ禍による影響が懸念されるが、令和4年度は市制50周年となることから、市PRキャラクターとしてファンと一緒に盛り上げられる企画を実施し、出勤回数を増やしていきたい。コロナ禍でもPRを継続していくためにも、SNSでの情報発信を強化することでジョーの認知度を更に高め、市のにぎわいづくり、ひいては活力形成につなげていきたい。	9	2		
2	市イメージキャラクター「まどかちゃん」PR事業	未達成（3点）	まどかちゃん派遣回数 ⇒27回（R1） ⇒18回（R2） ⇒34回（R3）			キャラクターの派遣業務の委託にあたって、スケールメリットの面から「大野ジョー」との一体的な契約を行うことが望ましい。	見直しの上で継続（3点）	維持	維持	令和4年度の市制施行50周年を盛り上げるため、「大野ジョー」とともに記念事業や冠事業での派遣を行っていく。また、キャラクターとしての活用機会と認知度向上を図るために、「大野ジョー」と同条件の活動条件となるように整理を行い、キャラクター同士の相乗効果につなげていきたい。	9	2		
3	「にぎわいづくり協議会」運営支援事業	未達成（3点）	おおのじょうまちなかわくわくパビリオン来場者数 ⇒14,181人（H29） ⇒15,321人（H30） ⇒29,604人（R1） ⇒0人（R2）※中止 ⇒7,931人（R3）			事務作業や将来に向けた事業の計画性や企画力等のスキルがまだまだ不足していると感じる。市がしっかりと連携することで職員人材の育成を図っていききたい。	現状のまま継続（3点）	維持	維持	平成30年3月に策定した「中長期基本計画（平成30年度から令和9年度までの10年計画）」に基づき、計画的な事業実施を行っており、本市の地域資源の情報収集に取り組みながら、各地域のイベント等事業の連携や協力を行い、市のにぎわいづくりの一助となる活動を継続している。令和4年度には、5ヵ年目を迎えるにあたり、計画の中間評価・見直しを行うこととしている。今後も、大野城市のにぎわいを生み出す中心的存在として、市民にとって必要不可欠な団体となるよう、継続して支援が必要である。	9	2		
4	地域情報発信アプリ「ジョークエスト」運用事業	未達成（3点）	アプリダウンロード数 ⇒3,201人（H30） ⇒3,697人（R1） ⇒4,034人（R2） ⇒4,794人（R3）			既存利用者が飽きずに、新規利用者也拡大していくために、新しいミッションを継続的に作り、より魅力的なツールとなるよう検討が必要である。	見直しの上で継続（3点）	維持	維持	地域情報を発信するツールを整備することは、市内外問わず、本市の魅力を知ってもらう必要な環境整備だと考える。利用者には遊び感覚で楽しんで本市の魅力を発見・再認識してもらい、まちのにぎわい形成につなげていきたい。令和4年度には、現在の不具合解消などに対応するために、アプリ版からWeb版へ移行する改修を実施する。利用者にとって使いやすく楽しめる魅力的なツールとなるように引き続き検討していきたい。	8	9		
5	おおの山城大文字まつり支援事業	未達成（3点）	おおの山城大文字まつり来場者数 ⇒64,000人（H29） ⇒65,000人（H30） ⇒0人（R1）※台風で中止 ⇒1,261人（R2） ⇒1,100人（R3） ※R2、R3はコロナによる代替事業			令和元年からまつりが開催できていない。歴史・伝統をつなぎ、改めて各団体や市職員も一体となってこの一大イベントを市民全体で盛り上げる必要がある。	現状のまま継続（3点）	維持	維持	近年の開催中止や延期で自主財源の確保がうまくできていないことから、自主財源確保のための取り組み支援や財政的な補助が引き続き必要である。今後も愛される「市民まつり」として、参加者も来場者も笑顔で楽しんでもらえるものとなるよう、工夫を凝らして盛り上げていきたい。	9	2		
6	ふるさと納税推進事業	未達成（3点）	ふるさと納税寄附額 ⇒242,495千円（R1） ⇒542,935千円（R2） ⇒1,602,753千円（R3）			寄附額は年々増加しているものの、市民税流出額も年々増加している。継続したPRに取り組んでいく必要があるが、寄附額が増えれば増えるほど事務量も増大していく。	拡大・重点化（4点）	維持	縮小	本市では、平成29年10月末から返礼品付ふるさと納税を開始して以降、寄附金額を順調に伸ばしてきている。しかしながら、市民の他自治体への寄附による市税流出額が拡大する中で、現在の実収益を維持するためにも、更なる返礼品の充実や効果的なPRに取り組み、寄附額の増額を目指すとともに、実務を遂行する職員負担を減らす取り組みも実施していきたい。	10	1		

別紙2__小施策構成事務事業各概要						小施策名		地域資源の活用によるまちの魅力向上								
事業番号	事務事業名	事業概要(目標は総合計画の目標年度)														
		事業区分	根拠法令・要綱等	事業の性質	市の実施義務	目的【何のためにこの事務事業を実施するのか】	直接対象【誰(何)を対象にこの事務事業を実施するのか】	対象規模(人数等)	手段【どのような手段でこの事務事業を実施するのか】	期待される成果【左記の手段をとることで、誰にどのような成果がもたらされることを期待するのか】	実施形態【外部委託の状況、補助・助成の状況】		筑紫地区等近隣自治体との比較	本市の水準、順位等	小施策への貢献度【左の成果をあげることにより、小施策の目標達成にどのような影響を与える(ことが期待できる)か】	貢献度
7	シティプロモーション推進事業	実施計画事業	なし	自治事務	任意規定	人口減少時代を迎え、都市間競争が今後一層激化していく中、令和元年度に策定した「大野城市シティプロモーションビジョン」に基づき、将来的な定住促進につなげていくための取り組みを実施するもの。	市民及び市外住民	100,000人	シティプロモーション関連事業の実施	大野城市のファンの増加	一部委託	プランニング等の支援		低い	アクションプランを策定することで、今後本市が行うプロモーション事業をより効果的に展開することができ、多くの人に本市を「心のふるさと」と感じてもらえることが期待できる。	高(3点)
8	シェアサイクル実証実験事業	実施計画事業	なし	自治事務	任意規定	市内地域資源への市民及び来訪者の回遊促進を図るため、近隣自治体と連携し、広域的な利用促進を図り、シェアサイクルシステムの導入を検討するもの。	市民及び市外住民	100,000人	シェアサイクル導入について、国・県の補助の状況、西鉄高架下の状況の変化を春日市、太宰府市と共有しつつ検討を継続する。	新たな回遊ツールとして、近隣市町村との交流人口の拡大に寄与することが期待できる。	その他	実施形態含めて検討		同程度	市内各地域資源への市民及び来訪者の回遊促進を図ることが期待できる。	高(3点)
9	観光対策事業	経常事業	なし	自治事務	任意規定	歴史・自然・事業所・人など本市が誇る様々な地域資源の情報発信、本市キャラクターの活用、それに伴う地域活性化を行い、併せて近隣ならびに福岡都市圏各自治体との連携による観光集客・交流人口の拡大を図るもの。	市民及び市外住民	100,000人	市内に点在する地域資源(市の魅力)を集約し、複数の事業を全体として市内外に発信する。	本市の魅力を市内外により深く広く周知するとともに、既存の本市イベント(おおの山城大文字まつり)などへの相乗効果が期待できる。	直営			同程度	観光全般に係る事業であることから、観光集客・交流人口の拡大が期待できる。	高(3点)
10	その他庶務	その他事業(事業費予算がないもの)	なし	自治事務	その他											
11																
12																
13																

別紙2_小施策構成事務事業各概要							小施策名		地域資源の活用によるまちの魅力向上				
事業番号	事務事業名	小施策の目標を踏まえた現状と課題					小施策の目標達成に向けた今年度以降の事務事業の方向性			優先順位		備考	
		現時点の成果達成状況		診断実施年度：2019（R1）		現時点の課題	今後の方向性		事務事業の今後の取組の方向性(コメント)	貢献度+進捗度+方向性	優先順位		
		達成度	【現時点ではどのような成果がでているか（左記の当初期待される効果及び当初は期待していなかった効果の発現状況）】	過去の施策マネジメント診断結果（各構成事務事業への診断）		【期待される成果をあげるため（小施策の目標達成に貢献するため）に必要なことは何か】	方向性	事業費の方向性	業務量の方向性				
7	シティプロモーション推進事業	未達成（3点）	令和3年度は委託業者とともにプロモーションのターゲット設定などを行い、今後本市が目指す方向性を位置づけたが、未だアクションプラン策定には移れていない。			職員プロジェクトチームと密に連携し、市総合計画ならびにシティプロモーションビジョンの内容に即したアクションプランを策定することが求められる。	現状のまま継続（3点）	維持	維持	市制50周年記念事業との整合性を保ちながら、令和4年度以降に実施するプロモーション事業へ着実につないでいく。	9	2	
8	シェアサイクル実証実験事業	未達成（3点）	既に事業展開している福岡市の事業者などと実施に向けて話をしているが、採算性の問題などからあまり進んでいない。			福岡市のような大規模都市以外では、事業費ゼロでの導入は難しいため、他市も含めた広域（複数団体）での事業開始や補助を検討すべき。	見直しの上で継続（3点）	拡充	維持	現状では、事業費ゼロベースでの導入可能性は難しく、本市単独実施となると、回遊性向上が見込めない。シェアサイクル事業者と密に協議しながら、令和4年度中に事業実施可能となる状況を見極め、補助の必要性や他市との共同実施を視野に入れながら令和5年度に導入できるように進めていく。	9	2	
9	観光対策事業	未達成（3点）	令和3年度は、コロナ禍でありながら、紙媒体やメディアを通して本市をPRする機会を得ることができた。			新型コロナウイルス感染症の影響から令和2年・3年度の実績値が低くなっているが、市制50周年を迎えたことから、対外的なPRの継続が求められる。	現状のまま継続（3点）	維持	維持	観光全般のPRに係る事業であることから、各事業を複合的にかつ効果的に市内外に発信していく。	9	2	
10	その他庶務												
11													
12													
13													

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業1	大野城市PRキャラクター「大野ジョー」運用事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	なし					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	その他	

目的	「大野ジョー」の知名度を活かし、キャラクターという特性を活かした本市PRを行うもの。				
対象	市民及び市外住民				
対象者数	100,000人				
手段(活動)	市内イベント(おおの山城大文字まつり、まどかフェスティバルほか)また市外開催イベントへの参加、大野ジョーグッズによる普及啓発等				
期待される成果	ゆるキャラ®グランプリ2018でご当地部門全国7位(県内2位)となり、市内外問わずPRキャラクターとしての地位を確立した「大野ジョー」を活用することで、キャラクターを通じた市内外への本市のPRが期待できる。				
実施形態	一部委託	派遣業務を委託			
筑紫地区等 近隣自治体との比較					同程度

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	現状のまま継続(3点)
		令和3年度より新たに2年間の業務委託を行った。コロナ禍による影響が懸念されるが、令和4年度は市制50周年となることから、市PRキャラクターとしてファンと一緒に盛り上げられる企画を実施し、出勤回数を増やしていきたい。コロナ禍でもPRを継続していくためにも、SNSでの情報発信を強化することでジョーの認知度を更に高め、市のにぎわいづくり、ひいては活力形成につなげていきたい。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		313時間	325時間
	業務量(会計)		1,498時間	1,445時間
	業務量合計		1,810時間	1,769時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	5,215千円	6,587千円	9,085千円

財源	一般財源	1千円	1千円	0千円
	特定財源	5,214千円	6,586千円	9,085千円
	特定財源内容	地域振興基金:4,819千円 派遣料:21千円 グッズ販売収入:374千円	地域振興基金:6,171千円 派遣料:15千円 グッズ販売収入:400千円	地域振興基金:8,685千円 派遣料:180千円 グッズ販売収入:220千円

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	大野ジョー出勤回数	回		160	100	150	130	160
				163	46	58		
活動指標②	SNS(①Facebook・②Twitter・③Instagram)への投稿回数	回		100	100	150	200	250
				83	83	312		
成果指標①	「大野ジョーくんとあそぼ」への年間来場者数	人	400	200	200	200	300	400
				80	125	284		
成果指標②	SNS(①Facebook・②Twitter・③Instagram)でのフォロワー件数	件	4750	—	4,000	4,250	4,500	4,750
				不明	3,946	4,166		
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	313	208	105	0	0	1,498	325	270	55	0	0	1,445	
1	キャラクター運用事業(派遣業務)		31	27	4	0	0	408	115	103	12	0	0	529	令和3年度は、コロナの影響による派遣数の減
2	キャラクター運用事業(グッズ等作成・公用交付)		68	40	28	0	0	462	142	100	43	0	0	378	
3	キャラクター運用事業(大野ジョーくん &まどかちゃんとあそぼ)		96	43	53	0	0	318	65	65	0	0	0	355	
4	キャラクター運用事業(事業者登録・イラスト利用)		9	2	7	0	0	99	0	0	0	0	0	58	
5	キャラクター運用事業(庶務)		109	95	14	0	0	213	3	3	0	0	0	125	令和3年度は、キャラクター商標の更新処理に伴う事務増
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業2	市イメージキャラクター「まどかちゃん」PR事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	なし					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	任意規定	

目的	リニューアルした「まどかちゃん」について「大野ジョー」と併せたシティプロモーションを展開することを目的とするもの。				
対象	市民				
対象者数	100,000人				
手段(活動)	令和元年にリニューアルした「まどかちゃん」について、市内イベント(まどかフェスティバルなど)への参加やグッズの普及啓発等を行う。				
期待される成果	市民に親しまれるキャラクターにするとともに、大野ジョーと一体的に企業等の使用を促すことで、キャラクターを通じた本市のPRが期待できる。				
実施形態	一部委託	派遣業務を委託			
筑紫地区等 近隣自治体との比較					同程度

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	見直しの上で継続(3点)
		令和4年度の市制施行50周年を盛り上げるため、「大野ジョー」とともに記念事業や冠事業での派遣を行っていく。また、キャラクターとしての活用機会と認知度向上を図るために、「大野ジョー」と同条件の活動条件となるように整理を行い、キャラクター同士の相乗効果につなげていきたい。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		88時間	325時間
	業務量(会計)		140時間	1,445時間
	業務量合計		228時間	1,769時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	1,631千円	2,541千円	4,561千円

財源	一般財源	1,006千円	2,480千円	4,316千円
	特定財源	625千円	61千円	245千円
	特定財源内容	グッズ販売収入	グッズ販売収入	グッズ販売収入

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	まどかちゃん出動回数	回		10	30	60	60	70
				27	18	34		
活動指標②								
成果指標①	まどかちゃん認知度	%	90	0	0	0	0	90
				0	0	0		
成果指標②	イラスト利用許可件数(累計)	件	30	0	5	10	20	30
				0	0	31		
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	88	10	78	0	0	140	325	270	55	0	0	1,445	
1	キャラクター運用事業(派遣業務)		0						115	103	12	0	0	529	令和4年度から事業移管のため 対比メインタスクなし
2	キャラクター運用事業(グッズ等作成・ 公用交付)		0						142	100	43	0	0	378	令和4年度から事業移管のため 対比メインタスクなし
3	キャラクター運用事業(大野ジョーくん &まどかちゃんとあそぼ)		0						65	65	0	0	0	355	令和4年度から事業移管のため 対比メインタスクなし
4	キャラクター運用事業(事業者登録・イ ラスト利用)		0						0	0	0	0	0	58	令和4年度から事業移管のため 対比メインタスクなし
5	キャラクター運用事業(庶務)		0						3	3	0	0	0	125	令和4年度から事業移管のため 対比メインタスクなし
6	市イメージキャラクターまどかちゃんP R事業		88	10	78	0	0	140	0						令和4年度から事業移管のため 対比メインタスクなし
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3__事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業3	「にぎわいづくり協議会」運営支援事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1	運営支援事業	25,747千円	4		
	2	都市間友好交流事業	273千円	5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	なし					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	その他	

目的	市内に点在する地域資源を集約し、効果的な発信と活用を行うことで市内のにぎわいづくりに資することを目的とするもの。				
対象	市民及び市外住民				
対象者数	100,000人				
手段(活動)	「(一社)にぎわいづくり協議会」の運営支援				
期待される成果	ふるさと大野城の「宝」である「人」「歴史」「自然」「文化」「産業」「施設」などの地域資源に関わる市民・事業所・団体等を互いに交流・連携させ、市全体のにぎわいの創出が期待できる。				
実施形態	補助・助成	事業補助金を交付			
筑紫地区等近隣自治体との比較					同程度

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	現状のまま継続(3点)
		平成30年3月に策定した「中長期基本計画(平成30年度から令和9年度までの10年計画)」に基づき、計画的な事業実施を行っており、本市の地域資源の情報収集に取り組みながら、各地域のイベント等事業の連携や協力を行い、市のにぎわいづくりの一助となる活動を継続している。令和4年度には、5ヵ年目を迎えるにあたり、計画の中間評価・見直しを行うこととしている。今後も、大野城市のにぎわいを生み出す中心的存在として、市民にとって必要不可欠な団体となるよう、継続して支援が必要である。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		398時間	541時間
	業務量(会計)		200時間	79時間
	業務量合計		597時間	620時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	25,630千円	25,747千円	26,020千円

財源	一般財源	25,630千円	25,747千円	26,020千円
	特定財源	0千円	0千円	0千円
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	わくわくパビリオン実施イベント数	回		40	0	40	45	45
				42	0	42		
活動指標②	フリーペーパー発行部数	部		40,000	65,000	90,000	100,000	120,000
				50,000	65,500	90,000		
成果指標①	わくわくパビリオン参加人数	人	35500	19,000	0	600	35,000	35,500
				29,604	0	7,931		
成果指標②	正会員数(法人・個人)	件	283	193	190	241	262	283
				182	171	182		
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和3年度実績						令和4年度計画						備考(増減理由等)	
		正規職員等					会計 年度	正規職員等					会計 年度		
		計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用			
		計	398	106	292	0	0	200	541	109	432	0	0	79	
1	にぎわいづくり協議会運営支援事業		398	106	292	0	0	200	541	109	432	0	0	79	
2			0						0						
3			0						0						
4			0						0						
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業4	地域情報発信アプリ「ジョークエスト」運用事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	なし					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	任意規定	

目的	歴史、自然、店など、大野城市の魅力を遊びながらゲーム感覚で体感してもらい、市の魅力の再発見、また市外からの来訪者増につなげるもの。				
対象	市民及び市外住民				
対象者数	100,000人				
手段(活動)	回遊地点や店舗の拡大及びイベントと連動したミッションの構築、転入者へのチラシ配布やHP・広報紙等での周知活動。				
期待される成果	市外からの来訪者の増加と市民が大野城市の魅力を再発見するためのきっかけとなることが期待できる。				
実施形態	一部委託	システム運用保守を委託			
筑紫地区等 近隣自治体との比較					同程度

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	見直しの上で継続(3点)
		地域情報を発信するツールを整備することは、市内外問わず、本市の魅力を知ってもらう必要な環境整備だと考える。利用者には遊び感覚で楽しんで本市の魅力を発見・再認識してもらい、まちのにぎわい形成につなげていきたい。令和4年度には、現在の不具合解消などに対応するために、アプリ版からWeb版へ移行する改修を実施する。利用者にとって使いやすく楽しめる魅力的なツールとなるように引き続き検討していきたい。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		222時間	215時間
	業務量(会計)		168時間	53時間
	業務量合計		390時間	268時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	867千円	867千円	4,176千円

財源	一般財源	867千円	867千円	1,672千円
	特定財源			2,504千円
	特定財源内容			宿泊税交付金:500千円 地域振興基金:2,004千円

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	ミッションの構築	ルート		22	24	28	32	36
				22	24	28		
活動指標②	「ジョークエスト」の定期的なPR	回		—	2	2	2	2
				0	0	2		
成果指標①	アプリダウンロード累積件数	件	6000	4,000	4,500	5,000	5,500	6,000
				3,697	4,034	4,794		
成果指標②	ポイント交換件数	件	75	—	50	50	50	75
				23	32	28		
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和3年度実績						令和4年度計画						備考(増減理由等)	
		正規職員等					会計 年度	正規職員等					会計 年度		
		計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用			
		計	222	201	21	0	0	168	215	114	101	0	0	53	
1	地域情報発信アプリ「ジョークエスト」運用事業		222	201	21	0	0	168	215	114	101	0	0	53	
2			0						0						
3			0						0						
4			0						0						
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業5	おおの山城大文字まつり支援事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	なし					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	任意規定	

目的	国指定特別史跡「大野城跡」を活かし、新たな文化と伝統を創造する大野城市の市民総ぐるみの文化イベントとしての「おおの山城大文字まつり」を通じて、「ふるさと大野城」への郷土愛の醸成とコミュニティの振興を図るもの。		
対象	市民及び市外住民		
対象者数	100,000人		
手段(活動)	「おおの山城大文字まつり委員会」の支援		
期待される成果	市外住民に大野城市の伝統をPRするとともに、市民の「ふるさと大野城」への郷土愛の醸成とコミュニティの振興が期待できる。		
実施形態	補助・助成	事業補助金を交付	
筑紫地区等近隣自治体との比較			高い

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	現状のまま継続(3点)
		近年の開催中止や延期で自主財源の確保がうまくできていないことから、自主財源確保のための取り組み支援や財政的な補助が引き続き必要である。今後も愛される「市民まつり」として、参加者も来場者も笑顔で楽しんでもらえるものとなるよう、工夫を凝らして盛り上げていきたい。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		1,630時間	1,370時間
	業務量(会計)		548時間	522時間
	業務量合計		2,179時間	1,892時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	8,249千円	5,695千円	12,308千円

財源	一般財源	8,249千円	5,695千円	12,308千円
	特定財源			
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	各部会、定例会他まつり開催に係る会議	回		25	25	30	30	25
				30	25	30		
活動指標②	まつり委員会構成団体数	団体		27	27	27	27	27
				27	27	27		
成果指標①	おおの山城大文字まつり入込客数	人	66500	65,000	1,250	1,100	66,500	66,500
成果指標②	延べ出演者数	人	2750	0	1,261	1,100		
				2,650	100	100	2,750	2,750
上記指標に表れない成果等				0	100	100		

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績						令和4年度計画						備考(増減理由等)
			正規職員等					会計 年度	正規職員等					会計 年度	
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	1,630	509	1,121	0	0	548	1,370	480	890	0	0	522	
1	おおの山城大文字まつり支援事業(事務局)		1,358	419	940	0	0	529	416	144	272	0	0	108	コロナの影響によるもの ※令和3年度の増は、代替事業による事務局協議増
2	おおの山城大文字まつり支援事業(総務部会)		28	0	28	0	0	4	396	234	162	0	0	24	コロナの影響によるもの ※令和3年度は代替事業により部会協議機会の減
3	おおの山城大文字まつり支援事業(企画部会)		228	91	137	0	0	15	354	60	294	0	0	156	コロナの影響によるもの ※令和3年度は代替事業により部会協議機会の増
4	おおの山城大文字まつり支援事業(事業部会)		16	0	16	0	0	1	204	42	162	0	0	234	コロナの影響によるもの ※令和3年度は代替事業により部会協議機会の減
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業6	ふるさと納税推進事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	大野城市寄附金実施要綱					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	任意規定	

目的	市民が他市にふるさと納税を行うことによる市民税流出額を確実に補填することを目的とする。また、併せて寄附を通じて本市の魅力や市内事業者・商品を広くPRし、地域イメージの向上や市内産業の振興に繋げるもの。				
対象	大野城市へ寄附を希望する人				
対象者数	寄附希望者				
手段(活動)	インターネットによる寄附受付、返礼品配送及び寄附の決済を行う。また、パンフレットや広告等によるPRを行う。				
期待される成果	本市への寄附の増額				
実施形態	一部委託	寄附受付・返礼品配送手配など			
筑紫地区等 近隣自治体との比較					同程度

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	拡大・重点化(4点)
		本市では、平成29年10月末から返礼品付ふるさと納税を開始して以降、寄附金額を順調に伸ばしてきている。しかしながら、市民の他自治体への寄附による市税流出額が拡大する中で、現在の実収益を維持するためにも、更なる返礼品の充実や効果的なPRに取り組み、寄附額の増額を目指すとともに、実務を遂行する職員負担を減らす取り組みも実施していきたい。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		2,698時間	2,262時間
	業務量(会計)		310時間	1,588時間
	業務量合計		3,008時間	3,850時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	300,508千円	763,717千円	1,071,321千円

財源	一般財源	300,508千円	763,717千円	1,071,321千円
	特定財源			
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	返礼品数	品		170	220	300	315	330
				200	290	404		
活動指標②								
成果指標①	寄附額	千円	1210000	260,000	470,000	1,010,000	1,110,000	1,210,000
				242,495	542,935	1,602,753		
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	2,698	1,145	1,553	0	0	310	2,262	456	1,806	0	0	1,588	
1	企業版ふるさと納税		136	106	30	0	0	0	62	14	48	0	0	110	寄附件数増を見込んだもの
2	個人版ふるさと納税		2,562	1,039	1,523	0	0	310	2,200	442	1,758	0	0	1,478	寄附額増による申請受付件数増を見込んだもの
3			0						0						
4			0						0						
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業7	シティプロモーション推進事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	なし					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	任意規定	

目的	人口減少時代を迎え、都市間競争が今後一層激化していく中、令和元年度に策定した「大野城市シティプロモーションビジョン」に基づき、将来的な定住促進につなげていくための取り組みを実施するもの。				
対象	市民及び市外住民				
対象者数	100,000人				
手段(活動)	シティプロモーション関連事業の実施				
期待される成果	大野城市のファンの増加				
実施形態	一部委託	プランニング等の支援			
筑紫地区等 近隣自治体との比較					低い

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)		診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	現状のまま継続(3点)
			市制50周年記念事業との整合性を保ちながら、令和4年度以降に実施するプロモーション事業へ着実につないでいく。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		121時間	574時間
	業務量(会計)		5時間	0時間
	業務量合計		126時間	574時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	0千円	7,502千円	10,850千円

財源	一般財源	0千円	7,502千円	10,850千円
	特定財源			
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	分析及びターゲット等の設定	回				1	0	0
活動指標②	プロモーション事業の実施	事業				0	1	8
成果指標①	このまちに住むことを他の人に薦めたいと思う市民の割合	%	80			0	0	80
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	121	14	108	0	0	5	574	158	416	0	0	0	
1	シティプロモーション推進事業		121	14	108	0	0	5	574	158	416	0	0	0	令和4年度アクションプラン策定を見込んだ増
2			0						0						
3			0						0						
4			0						0						
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業8	シェアサイクル実証実験事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	実施計画事業	
根拠法令・要綱等	なし					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	任意規定	

目的	市内地域資源への市民及び来訪者の回遊促進を図るため、近隣自治体と連携し、広域的な利用促進を図り、シェアサイクルシステムの導入を検討するもの。				
対象	市民及び市外住民				
対象者数	100,000人				
手段(活動)	シェアサイクル導入について、国・県の補助の状況、西鉄高架下の状況の変化を春日市、太宰府市と共有しつつ検討を継続する。				
期待される成果	新たな回遊ツールとして、近隣市町村との交流人口の拡大に寄与することが期待できる。				
実施形態	その他	実施形態含めて検討			
筑紫地区等近隣自治体との比較					同程度

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	見直しの上で継続(3点)
		現状では、事業費ゼロベースでの導入可能性は難しく、本市単独実施となると、回遊性向上が見込めない。シェアサイクル事業者と密に協議しながら、令和4年度中に事業実施可能となる状況を見極め、補助の必要性や他市との共同実施を視野に入れながら令和5年度に導入できるように進めていく。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		55時間	164時間
	業務量(会計)		0時間	0時間
	業務量合計		55時間	164時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	0千円	0千円	0千円

財源	一般財源	0千円	0千円	0千円
	特定財源			
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	春日市、太宰府市との協議	回		0	5	2	2	2
				0	5	2		
活動指標②	その他のモビリティも含めた動向調査	回		0	0	2	2	2
				0	0	2		
成果指標①								
成果指標②								
上記指標に表れない成果等	①本市への導入に必要な要件の把握 ②事業者と一体となって事業推進できる形態の把握							

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	55	31	24	0	0	0	164	82	82	0	0	0	
1	シェアサイクル導入実証実験事業		55	31	24	0	0	0	164	82	82	0	0	0	令和4年度は、令和5年度からの事業実施を想定して事業者との協議増の予定。
2			0						0						
3			0						0						
4			0						0						
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上					
事務事業名	事業9	観光対策事業				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4		
	2			5		
	3			6		
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	経常事業	
根拠法令・要綱等	なし					
事業の性質	自治事務			市の実施義務	任意規定	

目的	歴史・自然・事業所・人など本市が誇る様々な地域資源の情報発信、本市キャラクターの活用、それに伴う地域活性化を行い、併せて近隣ならびに福岡都市圏各自治体との連携による観光集客・交流人口の拡大を図るもの。				
対象	市民及び市外住民				
対象者数	100,000人				
手段(活動)	市内に点在する地域資源(市の魅力)を集約し、複数の事業を全体として市内外に発信する。				
期待される成果	本市の魅力を市内外により深く広く周知するとともに、既存の本市イベント(おおの山城大文字まつり)などへの相乗効果が期待できる。				
実施形態	直営				
筑紫地区等近隣自治体との比較					同程度

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)		診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	現状のまま継続(3点)
			観光全般のPRに係る事業であることから、各事業を複合的にかつ効果的に市内外に発信していく。	

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		166時間	30時間
	業務量(会計)		55時間	84時間
	業務量合計		221時間	113時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	2,979千円	3,408千円	3,554千円

財源	一般財源	2,979千円	3,408千円	3,554千円
	特定財源			
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	市外に向けたPR回数	回		5	5	5	5	5
				4	1	6		
活動指標②								
成果指標①	観光客入込客数(ふるさとにぎわい課関連事業のみ)	人	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
				29,611	1,261	9,031		
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	166	79	87	0	0	55	30	30	0	0	0	84	
1	観光対策事業		166	79	87	0	0	55	30	30	0	0	0	84	令和3年度は、観光冊子を作成したことによる業務量の増
2			0						0						
3			0						0						
4			0						0						
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						

別紙3_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	地域資源の活用によるまちの魅力向上						
事務事業名	事業10		その他庶務				
小事業※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1			4			
	2			5			
	3			6			
所管部署	プロモーション推進課			事業区分	その他事業(事業費予算)		
根拠法令・要綱等	なし						
事業の性質	自治事務			市の実施義務	その他		

目的					
対象					
対象者数					
手段(活動)					
期待される成果					
実施形態					
筑紫地区等 近隣自治体との比較					

2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度計画
ヒト	業務量(正規)		2,334時間	984時間
	業務量(会計)		260時間	190時間
	業務量合計		2,594時間	1,174時間
		令和2年度実績(決算)	令和3年度見込(決算見込)	令和4年度計画(予算)
カネ	事業費	0千円	0千円	0千円

財源	一般財源	0千円	0千円	0千円
	特定財源			
	特定財源内容			

3. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①								
活動指標②								
成果指標①								
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

4. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)		診断実施年度:2019(R1)	事務事業の今後の取組の方向性	

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク		令和3年度実績					令和4年度計画						備考(増減理由等)	
			正規職員等					会計 年度	正規職員等						会計 年度
			計	係長	担当	再任用PM	再任用		計	係長	担当	再任用PM	再任用		
		計	2,334	1,648	686	0	0	260	984	783	201	0	0	190	
1	庶務		732	144	589	0	0	129	297	96	201	0	0	190	
2	係長マネジメント関連業務		705	705	0	0	0	0	144	144	0	0	0	0	
3	実施計画・財務・人事関連業務		867	780	87	0	0	0	162	162	0	0	0	0	
4	経営資源マネジメント関連業務		31	20	11	0	0	132	382	382	0	0	0	0	
5			0						0						
6			0						0						
7			0						0						
8			0						0						
9			0						0						
10			0						0						
11			0						0						
12			0						0						
13			0						0						
14			0						0						
15			0						0						